



2007年4月23日

コンソールサーバ Passport シリーズと PRIMEPOWER 250、PRIMERGY RX300 S3 / TX200 S3 との接続検証結果報告書

ディジインターナショナル株式会社

1. 検証内容

コンソールサーバ Digi Passport 32 Dual AC Power と PRIMPOWER 250、PRIMERGY RX300 S3 / TX200 S3 との接続検証を実施いたしました。

2. 検証装置

コンソールサーバ Digi Passport 32 Dual AC Power(P/N 70002279)



接続対象サーバー

PRIMEPOWER 250 (Solaris 10 OS)

PRIMERGY RX300 S3 (Red Hat Enterprise Linux ES v.3)

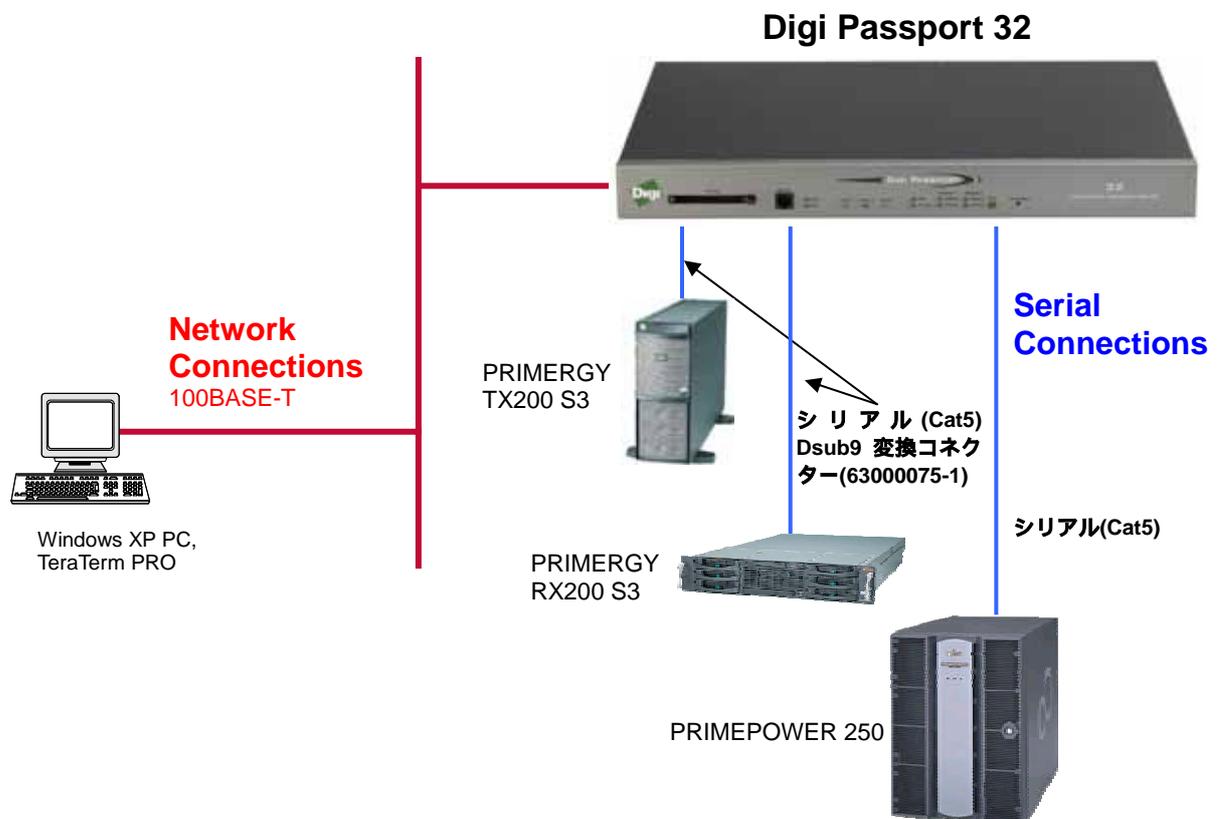
PRIMERGY TX200 S3 (Red Hat Enterprise Linux ES v.3)

3. 検証日時と検証場所

検証日時： 2007年4月9日 10:00 ~ 2007年4月10日 14:00

検証場所： 富士通株式会社 プラットフォームソリューションセンター

4. 検証実施構成図



5. 検証内容とその結果

Windows XP PC より TeraTerm Pro にて Ethernet 経由で telnet、SSH でコンソールサーバー PASSPORT 32 に接続し、シリアル経由で各サーバーに接続。

検証内容	結果		
	TX200S3	RX300S3	PRIMEPOWER250
OpenBoot 操作 (telnet, SSHv2)	-	-	
BIOS 操作 (telnet, SSHv2)			-
Grub 操作 (telnet, SSHv2)			-
IPMI(iRMC)操作 (telnet, SSHv2)			-
OS 操作 (Telnet, SSHv2)			
Passport 電源 ON/OFF Solaris が停止しないことの確認	-	-	

1. は問題なく操作ができること。 - は該当しないことを意味しています。
2. シリアルコンソールより PRIMERGY の BIOS 機能进行操作する際は F2 ファンクションキーの代わりに ESC+2 を使用します。

6. コンソールサーバーより RX300 S3、TX200 S3 の BIOS にアクセスするための BIOS 設定変更

■ Sever

Console Redirection: Disable Enable

Protocol: VT100+ VT100

Flow: CTS/RTS None

7. RX300 S3、TX200 S3 の iRMC にアクセスするための BIOS 設定変更

■ Peripheral Config

Serial 1: Auto Disable

Serial Multiplexer: System iRMC

8. RX300 S3、TX200 S3 の RedHat Enterprise Linux ES V.3 の設定変更

■ /boot/grub/grub.conf

1. splashimage= ~ の行 コメントアウト #splashimage= ~
2. 以下の 2 行を title 行の前に追加
serial -unit=0 -speed=9600 -word=8 -parity=no -stop=1
terminal -timeout=10 serial console
3. kernel 行の後ろに console=tty0 console=ttyS0,9600n8 を追加

/etc/initab

co:2345:respawn:/sbin/agetty 9600 ttyS0 vt100 を最後に追加

(ア) /etc/sysconfig/kudzu

SAFE=no SAFT=yes

(イ) /etc/securetty

ttyS0 を追加

(ウ) /etc/sysconfig/init

Bootup=color Bootup=serial

お問い合わせ先

ディジインターナショナル株式会社

技術部

TEL: 03-5428-0261

FAX: 03-5428-0262

E-mail: mail@digi-intl.co.jp

URL : <http://www.digi-intl.co.jp/>